

# キャンパスライフ健康支援センター年報

---

令和4年度

徳島大学キャンパスライフ健康支援センター

# キャンパスライフ健康支援センター年報

## 目次

巻頭言 .....	3
キャンパスライフ健康支援センター長 井崎ゆみ子	
I.保健管理部門	
1. 診療・健康相談日程表 .....	4
2. 学生定期健康診断 .....	5
(1) 学生定期健康診断の概要	
(2) 学生定期健康診断受診状況	
(3) 歯科検診受診状況	
(4) 定期健康診断後の追加健診および事後指導・経過観察	
3. 学生特別健康診断 .....	14
令和4年度受診状況（放射線業務従事者）	
4. 職員定期健康診断（事後措置） .....	15
令和4年度事後措置件数	
5. 職員特殊健康診断 .....	16
令和4年度受診状況	
6. 職員特定保健指導 .....	17
特定保健指導の概要と令和4年度実施状況	
7. 感染症対策 .....	19
①B型肝炎予防対策（学生）	
②インフルエンザワクチン接種状況	
8. 学内行事での救護活動 .....	21
令和4年度の救護活動	
9. 産業保健活動 .....	22
産業保健活動の概要	
10. 常三島地区利用状況 .....	23
(1) 学生の学部別利用状況	
(2) 学生の月別利用状況	
(3) 職員の利用状況	
(4) 学生・職員の健康機器利用状況	

1 1. 蔵本地区利用状況 .....	26
(1) 学生の学部別利用状況	
(2) 学生の月別利用状況	
(3) 職員の利用状況	
1 2. 学生メンタルヘルス関連 .....	28
(1) こころの相談室受診状況	
(2) 新入生メンタルヘルス健診実施状況	
1 3. 新型コロナ感染症相談対応 .....	31
1 4. 学生健康診断証明書発行状況 .....	33
1 5. 健康教室 .....	35
1 6. 令和4年度年間主要行事 .....	36
<b>Ⅱ.総合相談部門</b>	
1. 利用状況 .....	38
(1) 学生相談利用状況	
(2) 職員相談利用状況	
2. 活動報告 .....	40
令和4年度活動報告	
<b>Ⅲ.アクセシビリティ支援部門</b>	
1. 利用状況 .....	41
(1) 学生相談利用状況	
(2) 支援学生の育成	
2. 活動報告 .....	42
令和4年度活動報告	
<b>Ⅳ.キャンパスライフ健康支援センター活動報告 .....</b>	<b>43</b>
<b>巻末言 .....</b>	<b>44</b>

## 巻頭言

令和5年5月8日をもって新型コロナウイルス感染症は感染症法上の分類が2類相当から5類へと変更され、3年余続いた2類相当感染症としての新型コロナウイルス感染症対応が終了しました。それに伴い、大学の授業や研究活動、課外活動などが4年ぶりにコロナ禍以前に戻ることになりました。

ここに至る令和4年度までのコロナ禍の3年間をキャンパスライフ健康支援センターの各部門（総合相談室、保健管理センター、アクセシビリティ支援室）の学生の相談や診療の報告から振り返ってみたいと思います。

総合相談室では、学生相談においてコロナ前（平成29、30年度）は延べ件数で年平均1370件、相談者実数は130名であったものが、令和3年度の延べ件数2000件、相談者実数233名をピークに、令和4年度も228名の学生が相談利用するなど、大幅に学生相談件数および相談者実数の増加を見ました。

保健管理センターの学生診療では、コロナ前（平成29、30年度）は年平均約1800件の診療のうち、53%が内科、24%がケガ等の外科的処置、21%が精神科であったものが、令和2～4年度の3年間は、年平均660件の診療件数うち、74%が精神科、14%が内科、10%がケガ等の外科的処置でした。保健管理センターの学生診療では、精神科の診療件数が増加し、内科外科等が減少し、身体の状態による利用率と精神面による利用率の逆転現象が起きました。

一方、アクセシビリティ支援室における障がい学生の修学支援に関しては、コロナ前・コロナ禍という形での変化はなく、平成28年の開設後、毎年徐々に相談件数が増加し、コロナ禍でも増加が横ばい状態で、発達、精神、身体、内部障がいなど様々な障害の学生の修学に関わる相談を実施しています。

さて大学の活動が戻った今後はどのような変化がみられていくのでしょうか。

今後も様々な変化に対応しつつ、本学学生職員の皆様の健康支援に貢献できるよう、センター職員一同、一層努めてまいります。

平素より当センターの活動にご理解、ご協力頂いている徳島大学の各部局の教職員の方々に厚く御礼申し上げるとともに、コロナ禍において感染対策と両立した健康管理、健康支援、修学支援に対して、さまざまな工夫と労力を厭わず尽力いただいた、当センターの教職員の皆様にこの場をお借りして心より感謝申し上げます。

令和5年8月  
センター長 井崎ゆみ子

## I. 保健管理部門

### 1. 診療・健康相談日程表

常三島地区、蔵本地区ともに8時30分から17時15分までオープンしている。

#### 常三島地区

	月	火	水	木	金	
内科			○	○	○	金曜は半日（～R4.12）
メンタルヘルス	○	○			○	予約制、月曜は午後のみ
健康相談	○	○	○	○	○	
外傷処置	○	○	○	○	○	

#### 担当スタッフ

井崎 ゆみ子 （医師、メンタルヘルス担当）  
曾我部 正弘 （医師、内科担当）  
上野 理恵 （医師、内科担当 病院特任助教 R4.4～R4.12）  
高橋 智紀 （医師、内科担当 病院特任助教 R5.1～R5.3）  
早渕 純子 （保健師）  
西尾 よしみ （看護師）  
武田 早苗 （臨床検査技師）  
和喜 遥佳 （保健師 R4.4～）  
尾崎 理恵 （看護師）

#### 蔵本地区

	月	火	水	木	金	
内科	○			○	○	木曜は半日（R5.1～）
メンタルヘルス	○		○		○	予約制、月・水・金とも午後のみ
健康相談	○	○	○	○	○	
外傷処置	○	○	○	○	○	

#### 担当スタッフ

井崎 ゆみ子 （医師、メンタルヘルス担当）  
曾我部 正弘 （医師、内科担当）  
上野 理恵 （医師、内科担当 病院特任助教 R4.4～R4.12）  
高橋 智紀 （医師、内科担当 病院特任助教 R5.1～R5.3）  
枝川 令音 （医師、メンタルヘルス担当、病院特任助教 R2.4～R5.3）  
早渕 純子 （保健師）  
西尾 よしみ （看護師）

## 2. 学生定期健康診断

### (1) 学生定期健康診断の概要

#### 【実施項目】

	1年	2年	3年	4年	5年	6年	M1	M2	D1	D2	D3	D4
身長・体重	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
血圧	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
尿検査	●											
問診票提出	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
内科診察	△	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
胸部X線間接撮影	●	◎	○	▲	▲	▲						
精神健康調査	●											

● 印は全員該当      ○印は栄養学科・保健学科のみ

◎印は総合科学部「介護体験」実習生

▲医学科・薬学部

△追加健診対象者のみ

令和4年度は新型コロナウイルス感染症の対策を講じて、新入生を除いた在校生全員に対して対面診察による健診を例年通り実施した。令和3年度と同様に、学部の新入生健診については入学後の間もない時期で、感染拡大地域を含む全国各地の新入生が対象となることから、学内での感染拡大を鑑み、4月に尿検査及び問診票の提出、7月に身体計測・血圧測定・胸部撮影を行い、新入生健診を実施した。異常が疑われる新入生に対しては後日、追加健診を実施した。

#### 【実施時期と体制】

実施時期は学部新入生では4月初旬の4日間を「尿」「問診票」の提出期間とし、7月の6日間で「身体計測」「血圧測定」「胸部撮影」を実施した。これらで異常所見が疑われる新入生に対して再検査を含む追加健診を実施した。

新入生を除いた在校生については、対面診察による健診を予約制で3～5月の20日間で実施した。秋季入学生対象の健診は12月上旬に常三島地区にて1日間で実施した。

春季定期健診については保健管理部門スタッフのほか、1日当たり臨時看護スタッフ3名、病院医師2～3名及び学務・学部等の事務職スタッフ5名の協力を得て実施した。秋季入学生対象の健診については保健管理部門スタッフおよび学務・学部等の事務職スタッフ5名の協力を得て実施した。追加健診については保健管理部門スタッフのみで実施した。この場を借りて健診にご協力していただきました関係各位に、感謝申し上げます。

### 【実施結果の概要】

令和4年度の学部新入生の健診受診率は89.5%で、令和2・令和3年度より高かった。新入生を含む全学部生、前期課程大学院生、後期課程大学院生、秋季入学生の受診率はそれぞれ66.2%（R3年：56.3%）、66.4%（R3年：61.8%）、17.8%（R3年：15.3%）、88.2%（R3年：80.0%）であり、受診率は令和3年度と比べ、軒並み約3～10%増加した。これは、新型コロナウイルス感染症への対策を講じて健診を実施したことに加え、様々な広報活動等を通じて学生に周知したことが寄与したものと思われる。

## (2) 学生定期健康診断受診状況

定期健康診断（春季）

〈学部生〉

学部	数	学年						計
		1	2	3	4	5	6	
総合科学	学生数	173	178	181	195			727
	受診数	173	114	89	115			491
	%	100	64.0	49.2	59.0			67.5
医学	学生数	306	311	298	296	121	120	1452
	受診数	295	244	225	275	105	111	1255
	%	96.4	78.5	75.5	92.9	86.8	92.5	86.4
歯学	学生数	57	54	58	56	45	33	303
	受診数	53	50	49	39	34	33	258
	%	93.0	92.6	84.5	69.6	75.6	100	85.1
薬学	学生数	89	91	78	84	39	39	420
	受診数	84	77	60	62	39	37	359
	%	94.4	84.6	76.9	73.8	100	94.9	85.5
工学	昼間	学生数			1	9		10
		受診数			0	1		1
		%			0.0	11.1		10.0
	夜間主	学生数				3		3
		受診数				0		0
		%				0.0		0.0
理工学	昼間	学生数	619	605	571	565		2360
		受診数	515	240	176	208		1139
		%	83.2	39.7	30.8	36.8		48.3
	夜間主	学生数	60	51	49	51		211
		受診数	48	20	13	18		99
		%	80.0	39.2	26.5	35.3		46.9
生物資源 産業学	学生数	109	109	100	105		423	
	受診数	96	82	65	68		311	
	%	88.1	75.2	65.0	64.8		73.5	

計	学生数	1413	1399	1336	1364	205	192	5909
	受診数	1264	827	677	786	178	181	3913
	%	89.5	59.1	50.7	57.6	86.8	94.3	66.2

参)令和3年度	%	87.1	37.7	36.5	52.0	93.5	96.2	56.3
---------	---	------	------	------	------	------	------	------

\*学部新入生は問診票提出数を、その他の学年は内科受診者数をもとに算出

〈大学院生：博士前期課程及び修士課程〉

学部	数	学年		
		1	2	計
総合科学教育部 (博士前期課程)	学生数	/	2	2
	受診数		0	0
	%		0.0	0.0
医科学研究科 (修士課程)	学生数	9	8	17
	受診数	1	5	6
	%	11.1	62.5	35.3
医科栄養学研究科 (博士前期課程)	学生数	26	36	62
	受診数	26	28	54
	%	100	77.8	87.1
保健科学研究科 (博士前期課程)	学生数	31	26	57
	受診数	28	21	49
	%	90.3	80.8	86.0
口腔科学研究科 (博士前期課程)	学生数	2	4	6
	受診数	2	2	4
	%	100	50.0	66.7
薬学研究科 (博士前期課程)	学生数	32	41	73
	受診数	24	26	50
	%	75.0	63.4	68.5
先端技術科学教育部 (博士前期課程)	学生数	/	1	1
	受診数		0	0
	%		0.0	0.0
創成科学研究科 (博士前期課程)	学生数	387	383	770
	受診数	230	263	493
	%	59.4	68.7	64.0

計	学生数	487	501	988
	受診数	311	345	656
	%	63.9	68.9	66.4

参)令和3年度	%	57.1	66.3	61.8
---------	---	------	------	------

\*学部新入生は問診票提出数を、その他の学年は内科受診者数をもとに算出

〈大学院生：博士後期課程及び博士課程〉

学部	数	学年				
		1	2	3	4	計
総合科学教育部 (博士後期課程)	学生数	/	2	6		8
	受診数		0	1		1
	%		0.0	16.7		12.5
医科学研究科 (博士課程)	学生数	35	38	32	105	210
	受診数	1	2	0	2	5
	%	2.9	5.3	0.0	1.9	2.4
医科栄養学研究科 (博士後期課程)	学生数	8	7	17		32
	受診数	2	2	6		10
	%	25.0	28.6	35.3		31.3
保健科学研究科 (博士後期課程)	学生数	9	8	13		30
	受診数	3	1	0		4
	%	33.3	12.5	0.0		13.3
口腔科学研究科 (博士課程)	学生数	26	18	10	22	76
	受診数	13	11	1	6	31
	%	50.0	61.1	10.0	27.3	40.8
口腔科学研究科 (博士後期課程)	学生数	1	4	7		12
	受診数	0	1	0		1
	%	0.0	25.0	0.0		8.3
薬学研究科 (博士後期課程)	学生数	8	11	16		35
	受診数	7	6	4		17
	%	87.5	54.5	25.0		48.6
薬学研究科 (博士課程)	学生数	3	3	1	4	11
	受診数	2	2	1	1	6
	%	66.7	67	100	25.0	54.5
先端技術科学教育部 (博士後期課程)	学生数	8	18	42		68
	受診数	0	3	5		8
	%	0.0	16.7	11.9		11.8
創成科学研究科 (博士後期課程)	学生数	19				19
	受診数	6				6
	%	31.6				31.6
計	学生数	117	109	144	131	501
	受診数	34	28	18	9	89
	%	29.1	25.7	12.5	6.9	17.8

参)令和3年度	%	21.8	23.8	14.1	5.2	15.3
---------	---	------	------	------	-----	------

\*学部新入生は問診票提出数を、その他の学年は内科受診者数をもとに算出

### 秋季入学生健康診断

		留学生	日本人	合計
総合科学部 創成科学研究科	学生数	5		5
	受診数	5		5
	%	100.0		100.0
医学部 保健科学研究科 医学研究科	学生数	4	1	5
	受診数	3	0	3
	%	75.0	0.0	60.0
歯学部 口腔保健科学研究科	学生数	1	2	3
	受診数	1	0	1
	%	100.0	0.0	33.3
薬学部 薬学研究科	学生数	1		1
	受診数	1		1
	%	100.0		100.0
理工学部 創成科学研究科	学生数	13	1	14
	受診数	13	1	14
	%	100.0	100.0	100.0
生物資源産業学部 創成科学研究科	学生数	1		1
	受診数	1		1
	%	100.0		0.0
高度教育研究センター	学生数	5		5
	受診数	5		5
	%	100.0		100.0
合計	学生数	30	4	34
	受診数	29	1	30
	%	96.7	25.0	88.2

社会人入学者 15 名のうち、今年度現在の職場で健康診断を受診済み、もしくは 3 月末までに受診予定であることが確認できた 14 名は対象外とした。

### (3) 歯科検診受診状況

平成 19 年度より学生定期健康時実施時に、予防歯科の伊藤先生のご協力を得て実施してきた歯科検診については、令和 2 年度以降は新型コロナウイルス感染症を鑑み、対面式である歯科検診は実施していない。

#### (4) 定期健康診断後の追加健診および事後指導・経過観察

健診結果の血圧もしくは尿検査で異常を疑われた場合は、まず再検査を呼びかけ、その結果等をふまえて、6月に追加健診（学部新入生）、事後指導（学部2年生以上と大学院生）を実施した。追加健診の対象基準は、尿検査で蛋白1+以上、潜血1+以上、糖±以上のいずれかに該当する場合もしくは問診の症状等を参考にした。また事後指導は、血圧：収縮期血圧160mmHg以上 and/or 拡張期血圧90mmHg以上、尿検査：蛋白1+以上、潜血1+以上、糖±以上のいずれかに該当する場合、健診時の診察所見、胸部レントゲン検査結果を参考にして対象者を抽出した。令和4年度の血圧および尿検査の再検査受診率は、それぞれ76.7%と41.2%であった。追加健診対象者の受診率は50.3%と令和3年度と比べ約15%高くなった。また、追加健診の未受診者や事後指導の未受診者に文書指導を実施することで生活習慣の改善や医療機関受診勧奨を促した。加えて12月に6月時に事後指導の対象者となった学生に対して、事後指導後の経過を診るための「経過観察」受診を呼びかけ、希望者に実施した。

##### \* 追加健診および事後指導の対象基準

〈追加健診〉

##### ①尿検査

蛋白	1+ ≤
潜血	1+ ≤
糖	± ≤

##### ②問診

既往歴または治療中	意識消失発作
	呼吸困難
	胸痛
	動悸・息切れ
	咳・痰(1か月以上)
症状から	意識消失発作
	呼吸困難
	胸痛
	動悸・息切れ
	咳・痰(1か月以上)
異常指摘既往から	心雑音
	不整脈
	心電図異常
	甲状腺腫大

〈事後指導・経過観察〉

血圧	最高	160 ≦
	最低	90 ≦
尿	蛋白	1+ ≦
	潜血	1+ ≦
	尿糖	± ≦
内科		有所見者
XP		要精密・要治療・治療中

再検査

学部	尿再検査					血圧再検査				
	受診数	有所見数	%	再検査数	%	受診数	有所見数	%	再検査数	%
総合科学	169	6	3.6	4	66.7	493	9	1.8	6	66.7
医学	291	9	3.1	7	77.8	1367	31	2.3	20	64.5
歯学	54	4	7.4	2	50.0	296	9	3.0	5	55.6
薬学	82	2	2.4	1	50.0	447	11	2.5	10	90.9
工学	0	0	0.0	0	0.0	9	0	0.0	0	0.0
理工学	561	28	5.0	6	21.4	1471	54	3.7	46	85.2
生物資源産業学	94	2	2.1	1	50.0	364	6	1.6	5	83.3
計	1251	51	4.1	21	41.2	4447	120	2.7	92	76.7

追加健診（学部新入生）

学部	対象者数	呼出数	%	受診数	%	尿		問診		胸部レントゲン	
						対象者数	受診数	対象者数	受診数	対象者数	受診数
総合科学	173	22	12.7	13	59.1	6	4	17	9	0	0
医学	293	33	11.3	25	75.8	9	6	24	19	0	0
歯学	55	7	12.7	3	42.9	4	2	3	1	0	0
薬学	85	12	14.1	8	66.7	3	1	9	7	0	0
工学	0	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0	0	0
理工学	597	67	11.2	23	34.3	21	5	49	20	0	0
生物資源産業学	100	6	6.0	2	33.3	1	1	5	1	0	0
計	1303	147	11.3	74	50.3	44	19	107	57	0	0

事後指導（学部2年生以上と大学院生）

学部	対象者数	呼出数	%	受診数	%	血圧		内科		胸部レントゲン		BMI	
						対象者数	受診数	対象者数	受診数	対象者数	受診数	対象者数	受診数
総合科学	616	13	2.1	6	46.2	4	1	8	4	0	0	1	1
医学	1567	37	2.4	17	45.9	18	7	18	9	1	1	2	1
歯学	342	11	3.2	5	45.5	6	1	3	2	0	0	3	2
薬学	454	12	2.6	8	66.7	5	3	6	5	0	0	1	0
工学	82	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0
理工学	2631	36	1.4	16	44.4	23	9	11	6	0	0	5	2
生物資源産業学	403	9	2.2	4	44.4	3	2	6	2	0	0	0	0
計	6095	118	1.9	56	47.5	59	23	52	28	1	1	12	6

経過観察

学部	血圧		尿	
	対象者数	受診数	対象者数	受診数
総合科学	5	1	1	0
医学	17	3	3	1
歯学	6	0	2	0
薬学	5	1	3	0
工学	0	0	0	0
理工学	21	1	16	5
生物資源産業学	3	2	1	1
計	57	8	26	7

### 3. 学生特別健康診断

放射線取扱者に対する健診を例年通り、新規取扱者は6月と11月の年2回、更新者は9月と2月の年2回実施した。令和4年度の健診者数は1,677名で、令和3年度と同程度であった。学内駅伝大会については令和2年度以降、新型コロナウイルス感染症のため全面的に中止となっていたが、令和4年度には電気電子駅伝大会が再開催されることになり、出場者全員に心電図検査等の健診を実施した。

学部	令和4年度		
	放射線取扱者	電気電子駅伝大会出場者	計
総合科学	0	0	0
医学	1066	0	1066
歯学	25	0	25
薬学	170	0	170
工学	0	0	0
理工学	370	49	419
生物資源産業学	46	0	46
計	1677	49	1726

電気電子駅伝大会出場者全員に心電図検査を実施

#### 4. 職員定期健康診断（事後措置）

職員定期健康診断（外注）は、例年通り6月に実施された。定期健康診断後の事後措置は当保健管理部門が担当しており、令和4年度もこれまでと同様に、健診結果で要精査または要治療となっている対象者に文書や電話による受診勧奨の事後措置を実施した。がん検診については、大腸がんおよび肺がん検診受診者の精密検査の要否判定を実施している。肺がん検診の受診者数は、最近3年間でほぼ横ばいで推移している。

所属	経過観察	大腸がん	肺がん
	指導数	受診数	受診数
事務局	38	15	3
病院	219	36	2
常三島事務部	8	5	0
蔵本事務部	8	3	0
大学院医歯薬学研究部	64	35	6
大学院社会産業理工学研究部	51	21	5
学内共同教育研究	40	24	6
研究連携推進機構	9	8	0
計	437	147	22

## 5. 職員特殊健康診断

深夜業務、放射線取り扱い業務、有機溶剤取り扱い業務、特定化学物質取り扱い業務およびVDT作業の各従事者に対して、年2回の特殊健康診断を実施している。令和4年度の健診受診者数は2,827件と例年と同程度であった。

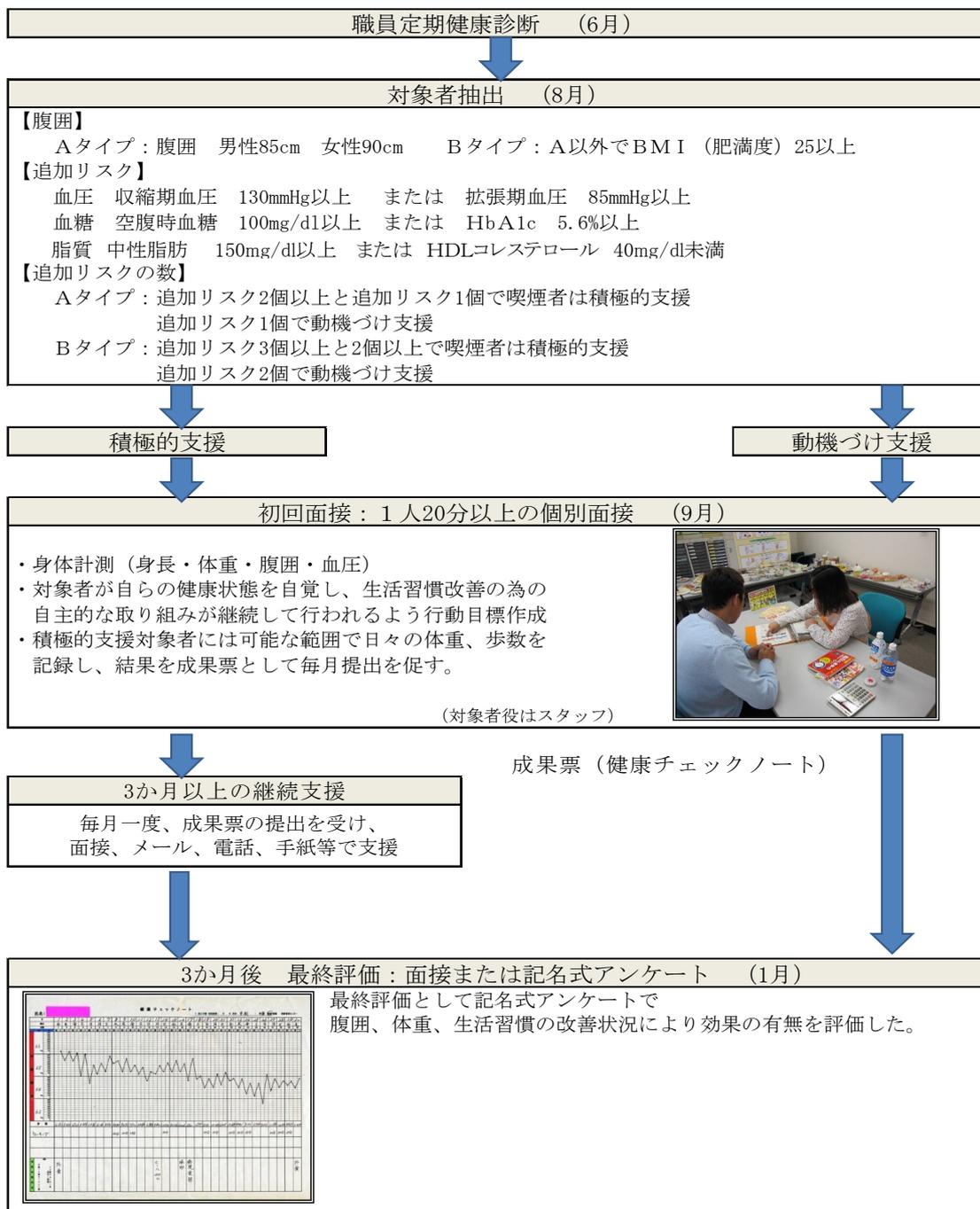
所 属	健康診断受診数						計
	深夜業務	放射線取り扱い		有機溶剤	特定化学物質	VDT	
		新規	更新				
事務局	0	0	0	0	0	1	1
病院	723	140	1017	47	76	56	2059
常三島事務部	0	0	0	0	0	0	0
蔵本事務部	0	0	0	0	0	1	1
大学院医歯薬学研究部	0	25	340	26	35	26	452
大学院社会産業理工学研究部	0	2	118	24	18	10	172
学内共同教育研究	0	1	71	31	31	8	142
研究連携推進機構	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
計	723	168	1546	128	160	102	2827

## 6. 職員特定保健指導

### 特定保健指導とは

平成20年度より、メタボリックシンドローム（内臓脂肪症候群）に着目した特定健康診査、特定保健指導が開始となり、当センターでも職員の生活習慣見直しのサポートを開始した。特定保健指導には、リスクの程度に応じて、積極的支援と動機づけ支援があり、よりリスクの高い方が積極的支援となる。

### 支援の方法



令和4年度の積極的支援の対象者は98名、動機づけ支援の対象者は118名であった。新型コロナウイルス感染症による自粛生活が続く中、運動不足、ストレスなどが重なり、いわゆる「コロナ太り」の増加が懸念されることから生活習慣改善のための保健指導の介入は重要である。そこで対象者全員へ生活習慣改善を呼びかける文書指導を実施し、更に新型コロナウイルス感染症の対策を講じたうえで、希望者には対面での保健指導を実施した。また対面を望まない希望者にはメールや電話等を活用した保健指導も実施した。

〈積極支援〉

地区	対象者	初回面接実施者		初回面接後内服開始により対象外となった者	初回面実施後、3か月継続支援完了者		3ヶ月後評価が出来た者で効果が見られた者			初回面接実施者中効果の見られた者	
		人数	人数		率	人数	率	評価人数	効果あり	率	人数
常三島・新蔵地区	46	7	15.2	0	5	71.4	5	4	80.0	5	71.4
蔵本地区	52	3	5.8	0	2	66.7	2	2	100.0	2	66.7
合計	98	10	10.2	0	7	70.0	7	6	85.7	7	70.0

〈動機づけ支援〉

地区	対象者	初回面接実施者		初回面接から3か月後質問紙提出があった者		3ヶ月後評価が出来た者で効果が見られた者			初回面接実施者中効果の見られた者	
		人数	人数	率	人数	率	評価人数	効果あり	率	人数
常三島・新蔵地区	37	10	27.0	8	80.0	8	8	100.0	8	80.0
蔵本地区	81	3	3.7	2	66.7	2	2	100.0	2	66.7
合計	118	13	11.0	10	76.9	10	10	100.0	10	76.9

\*メールや電話、手紙、面接等で支援を行った総数（初回面接除く）12件

## 7. 感染症対策

学生の感染症対策として、病院内の実習における感染症対策に求められる基準に合わせて、学部学科より実施の依頼を受け、HBV 感染症対策として、採血およびワクチン接種を実施している。令和4年度のワクチン接種回数は例年と同程度であったが、採血回数は例年度の回数に加え、新型コロナ感染症の影響による入校制限等により実施できなかった令和3年度後半の未実施採血を実施したため令和4年度の採血回数は令和3年度に比べ約2倍となった。

また令和4年度も昨年に引き続き、徳島大学新型コロナワクチン3回目拠点接種（職域接種を含む）を保健管理部門が運営管理責任機関となって令和4年5月の合計4日間で、当大学および他大学の学生・教職員・関係者に対して、約2,400回のワクチン接種を実施した。この場を借りて、ご協力して頂きました関係各所および関係各位に、感謝申し上げます。

### <HB ワクチン接種及び採血>

学部	HBワクチン接種	HBs抗原抗体採血・抗体採血
総合科学	59	53
医学	843	735
歯学	165	108
薬学	285	201
工学	0	0
理工学	0	0
生物資源産業学	0	0
計	1352	1097

また、学生・職員の希望者に対して、毎年秋頃にインフルエンザの予防接種を実施している。令和4年度における職員接種数は例年と同程度であったが、学生の接種数は季節性インフルエンザの流行の兆しがなかったことなどから前年度に比べ減少した。

<インフルエンザワクチン接種>

所属		令和4年度
学生	総合科学	32
	医学	299
	歯学	99
	薬学	135
	理工学	85
	生物資源産業学	39
	小計	689
職員	事務局	155
	病院	1
	常三島事務部	49
	蔵本事務部	15
	大学院医歯薬学研究部	30
	大学院社会産業理工学研究部	152
	学内共同教育研究	118
	研究連携推進機構	55
	その他	0
	小計	575
合計		1264

## 8. 学内行事での救護活動

大学や学部等からの依頼により、学内行事などでの救護に対応している。令和2年度以降は新型コロナウイルス以前にはなかった、大学院入試、編入学入試などの入試の救護に加え、各入試の受験者の健康状態による受験資格の判定の業務依頼も加わったことから、令和4年度の学内行事に伴う救護活動日数が55日と急増した。

行事内容		常三島		蔵本	
		日数	救護者	日数	救護者
入試関係	大学入試共通テスト	2	2	/	/
	前期試験	2	0	2	0
	後期試験	1	0	1	0
	推薦入試等	18	0	21	0
イベント	科学体験フェスティバル	/	/	/	/
	大学祭等	2	2	2	0
	オープンキャンパス	1	0	3	0
合計		26	4	29	0

### <学外>

行事内容		日数	救護者	場所
大会	徳島大学駅伝大会	/	/	徳島公園
合計		/	/	

(令和4年度は開催中止)

## 9. 産業保健活動

徳島大学の安全衛生管理体制の中で産業保健活動を実施している。

常三島地区の産業医として井崎、衛生管理者として西尾、蔵本地区産業医として曾我部が選任されている。

### 衛生管理者（西尾）業務

安全衛生委員会（常三島地区）

衛生管理者巡視（常三島地区）

### 産業医（井崎）業務

職場巡視（常三島地区）

安全衛生委員会（常三島地区）

長期休業者職場復帰支援（常三島・蔵本・新蔵地区）

ストレスチェック実施と面接指導（常三島・蔵本（病院除く）・新蔵地区）

長時間労働者面接指導（常三島・蔵本（病院除く）・新蔵地区）

### 産業医（曾我部）業務

職場巡視（蔵本地区）

安全衛生委員会（蔵本地区）

総括安全衛生管理者等による合同パトロール（蔵本地区）

長期休業者職場復帰支援（蔵本地区）

長時間労働者面接指導（蔵本地区）

### 面接指導・復帰支援件数

職員所属地区		常三島	新蔵	蔵本	計	令和3年度
面接指導	長時間労働者	5	0	1	6	8
	ストレスチェック	5	3	5	13	7
職場復帰支援(両立支援含む)		25	28	31	84	111
計		35	31	37	103	126

ストレスチェックによる高ストレス該当者の面接指導希望件数は令和3年度より増加している。長期休業者職場復帰支援件数は昨年度より減少しているものの、令和2年度以降は比較的多い支援件数が続いている。

## 10. 常三島地区利用状況

学生の内科・外科・婦人科の総診療数は、令和4年度は105件と令和3年度より増加したが、コロナ禍以前と比べると少ない件数である。これは新型コロナウイルス感染症に伴うオンライン授業の増加によって学生の入校自体が減ったこと、発熱風邪等の有症状者の登校自粛要請、課外活動自粛等による学内での体調不良・怪我の減少などの影響が大きいものと考えられる。メンタル系の診療件数に関しては383件と前年度より55件減少した。診療を除く項目別での利用状況は、メールや電話や来所による健康相談に関するものが最も多く、ついで健康診断証明書や診断書や紹介状などの書類に関するものとなっている。なお、相談・問い合わせのうち、新型コロナウイルス感染症に関するものの内訳は、13. 新型コロナウイルス感染症相談対応に示している。

### (1) 学生利用状況—学部別

利用区分	診療					書類					相談、問合せ		休養室利用	急患救護	実験用採血	衛生材料	その他	総計
	内科系	外科系	メンタル	婦人科系	診療計	健康診断証明書	健診結果表	紹介状	診断書・意見書	書類計	来所	メール、電話						
総合科学	15	10	103	1	129	57	0	2	4	63	894	1512	29	8	1	49	0	3481
医学	1	4	1	3	9	120	0	1	2	123								
歯学	1	2	0	0	3	17	0	0	0	17								
薬学	0	1	2	0	3	38	0	0	0	38								
工学	0	0	10	0	10	2	0	0	1	3								
理工学	22	26	201	4	253	204	0	2	7	213								
生物資源産業学	5	9	66	1	81	38	0	1	3	42								
その他	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1								
計	44	52	383	9	488	476	0	7	17	500	894	1512	29	8	1	49	0	3481

(2) 学生利用状況一月別

利用区分	診療					書類					相談、問合せ		休養室利用	急患救護	実験用採血	衛生材料	その他	総計
	内科系	外科系	メンタル	婦人科系	診療計	健康診断証明書	健診結果表	紹介状	診断書	書類計	来所	メール、電話						
4月	3	1	30	1	35	154	0	0	1	155	219	590	2	1	0	3	0	1005
5月	8	11	37	0	56	137	0	0	1	138	86	117	4	1	1	9	0	412
6月	5	7	35	1	48	38	0	1	0	39	129	109	2	1	0	1	0	329
7月	4	6	37	3	50	23	0	0	1	24	90	127	4	1	0	1	0	297
8月	2	0	33	1	36	15	0	0	5	20	70	67	2	0	0	0	0	195
9月	1	6	24	0	31	13	0	1	1	15	25	49	0	0	0	0	0	120
10月	4	9	33	1	47	8	0	0	0	8	56	107	6	3	0	11	0	238
11月	4	6	36	0	46	2	0	1	1	4	42	78	1	0	0	10	0	181
12月	4	3	38	1	46	11	0	2	1	14	70	102	1	1	0	2	0	236
1月	3	2	29	1	35	7	0	0	2	9	42	79	4	0	0	12	0	181
2月	5	0	25	0	30	19	0	1	1	21	26	43	3	0	0	0	0	123
3月	1	1	26	0	28	49	0	1	3	53	39	44	0	0	0	0	0	164
計	44	52	383	9	488	476	0	7	17	500	894	1512	29	8	1	49	0	3481

(3) 職員利用状況

職員の内科・外科系の総診療数は、令和4年度は21件と前年度よりわずかに減少した。また、メンタル系の診療に関しては24件と前年度よりわずかに増加した。診療を除く項目別での利用状況は、職場復帰支援や関係者のコンサルテーションによる相談に関するものが最も多く、ついで診断書や意見書などの書類に関するものとなっている。

利用区分	診療					相談		書類					休養室利用	急患救護	実験用採血	総計
	内科系	外科系	メンタル	婦人科系	診療計	職場復帰支援	関係者コンサルテーション	健康診断証明書	健診結果表	紹介状	診断書・意見書	書類計				
令和4年度	15	6	24	0	45	58	1	0	0	0	57	57	0	1	11	173

#### (4) 学生・職員の健康機器利用状況

常三島保健管理部門では、ヘルスチェックルームに体組成計、身長体重計、血圧計、視力計等を設置し、健康管理に役立ててもらおう目的で、来所者が自由に利用できるようにしている。令和4年度は約1,500件の利用があり、令和3年度に比べ約600件増加した。これは、ヘルスチェックルームの使用に際しても、様々な工夫による新型コロナウイルス感染症対策を講じたことで使用時間を昨年度より延長できたことによると思われる。

利用区分	令和4年度
4月	18
5月	77
6月	253
7月	248
8月	170
9月	91
10月	152
11月	167
12月	128
1月	95
2月	81
3月	54
計	1534

## 1 1. 蔵本地区利用状況

令和4年度の診療数は令和3年度と比べ、81件増加した。内訳は内科・外科・婦人科系が30件、メンタル系が51件増加した。令和5年5月には新型コロナウイルス感染症が5類になったことから今後は更に増加することが予想される。

### (1) 学生利用状況—学部別

利用区分	診療					書類					健康相談		休養室 利用	急患 救護	実験用 採血	機器 利用	衛生 材料	問合せ、 その他	総計
	内科 系	外科 系	メン タル	婦人 科系	診療 計	健康診 断証明 書	健診結 果表	紹介 状	診断 書・意 見書	書類 計	来所	メール、 電話							
総合科学	0	0	0	0	0	13	0	0	0	0	39	62	0	0	0	120	5	202	754
医学	40	11	95	4	150			5	10	15			15	7	0				
歯学	6	7	11	1	25			0	2	2			2	2	0				
薬学	17	9	53	1	80			1	0	1			8	4	0				
工学	0	0	0	0	0			0	0	0			0	0	0				
理工	1	0	0	0	1			0	0	0			0	0	0				
生物資源	0	0	0	1	1			0	0	0			0	0	0				
その他	0	0	0	0	0			0	0	0			0	0	0				
計	64	27	159	7	257			6	12	31			25	13	0				

### (2) 学生利用状況—月別

利用 区分	診療					書類					健康相談		休養室 利用	急患 救護	実験用 採血	機器 利用	衛生 材料	問合せ、 その他	総計
	内科 系	外科 系	メン タル	婦人 科系	診療 計	健康診 断証明 書	健診結 果表	紹介 状	診断 書・意 見書	書類 計	来所	メール、 電話							
4月	5	1	15	2	23	0	0	1	0	1	5	3	5	3	0	8	1	61	110
5月	7	1	15	0	23	1	0	1	2	4	0	3	2	4	0	13	1	10	60
6月	14	3	21	0	38	3	0	2	0	5	4	2	5	1	0	18	2	38	113
7月	6	7	13	1	27	1	0	0	0	1	1	2	2	1	0	17	0	15	66
8月	0	0	9	1	10	0	0	0	0	0	2	2	1	0	0	5	0	4	24
9月	7	1	13	1	22	0	0	1	0	1	3	11	3	2	0	16	0	1	59
10月	4	1	15	2	22	0	0	0	0	0	7	8	2	0	0	6	0	3	48
11月	6	7	13	0	26	0	0	0	1	1	6	4	1	0	0	6	0	10	54
12月	5	3	12	0	20	5	0	0	0	5	2	14	1	0	0	13	1	13	69
1月	3	2	11	0	16	2	0	0	0	2	2	3	2	0	0	10	0	3	38
2月	6	1	12	0	19	1	0	0	1	2	1	2	1	2	0	8	0	33	68
3月	1	0	10	0	11	0	0	1	8	9	6	8	0	0	0	0	0	11	45
計	64	27	159	7	257	13	0	6	12	31	39	62	25	13	0	120	5	202	754

### (3) 職員利用状況

職員の利用件数は前年度と比べ約2倍に増加した。

利用区分	診療				相談		書類					健康相談		休養室利用	急患救護	機器利用	衛生材料	問合せ、その他	総計	
	内科系	外科系	メンタル	婦人科系	診療計	職場復帰支援	関係者コンサルテーション	健康診断証明書	健診結果表	紹介状	診断書・意見書	書類計	来所							メール、電話
令和4年度	8	7	18	0	33	26	0	0	0	0	25	25	13	12	3	1	8	0	58	179

## 1 2. 学生メンタルヘルス関連

### (1) こころの相談室受診状況

常三島保健管理部門および蔵本保健室の「こころの相談室」を受診した学生の診断別実数を示す。受診学生の実数については年度による変動があるものの、直近5年間は約60名～80名であり、令和3年度の78名から、令和4年度に94名と増加し、10年ぶりに90名を超えた。受診件数は令和3年度に546件と増加し、件数は令和4年度も542件と横ばいであった。受診者の診断の内訳をみると、神経症性障害、気分障害が多い傾向は例年同様で、次いでF8とF9を合わせた発達障害の占める割合が多くなっている。また、令和4年度も、「その他」の診断に至らないメンタルヘルス相談の利用者は少なかった。

		常三島	蔵本	総計
精神 医学 的 診 断	F0 症状性・器質性精神障害	6	0	6
	F1 精神作用物質による精神障害	0	0	0
	F2 統合失調症圏	3	0	3
	F3 気分障害	20	5	25
	F4 神経症性障害	18	13	31
	F5 生理的障害	3	3	6
	F6 パーソナリティ障害	1	0	1
	F8 広汎性発達障害圏	10	2	12
	F9 小児・青年期の行動情緒障害	5	2	7
	その他	0	3	3
計(人数)		66	28	94
計(面接件数)		383	159	542

#### 学部別（専攻別）受診状況

受診者数は理工学部が最も多いが、在籍者数から見ると、生物資源産業学部が 2.2%と最も高く、次いで薬学部が 2.0%となった。

	常三島	蔵本	総計
総合科学部	14	0	14
医学部	1	17	18
歯学部	0	1	1
薬学部	1	10	11
工学部	2	0	2
理工学部	38	0	38
生物資源産業学部	10	0	10
その他	0	0	0
計(人数)	66	28	94

#### 関係者のみの相談利用

学生本人の利用には至っていないが、関係者（保護者や教員）のみが学生について相談利用した数を示している。わずかずつ利用が増えていたが、令和 4 年度は前年度と比較して面接件数が 5 件から 15 件と 3 倍に増加した。

	常三島	蔵本	総計
関係者のみの相談(保護者・教員)(人数)	6	3	9
面接件数	12	3	15

## (2) 新入生メンタルヘルス健診実施状況

平成 20 年度から、新入生の健診時に、自記式の質問紙によるメンタルヘルス健診を実施している。質問紙の回答の結果がカットオフを超えていた者を二次健診対象者として、面接を呼びかけて精神保健指導を行っている。

質問紙は平成 26 年度までは GHQ28 を、27 年度から UPI を使用している。UPI では 60 点満点中「総得点が 30 点を越える者」、「得点にかかわらず自殺念慮が見られる者」を二次健診対象とし、それに満たない 25 点以上の高得点者に対しては希望者に面接を呼びかけている。面接を呼びかける手段は令和 2 年度までは手紙を送っていたが、令和 3 年度からはメールでの呼びかけに変更し、令和 4 年度も同様とした。

全体の平均得点は例年同様、二次健診対象者は 7.8% でやや減少していた。二次健診対象者中の面接数は、対象者数の 21% であった。面接時の状態によって必要と思われる支援や連携を行った。

	学生数	受診者数	受診率 (回収率)	平均得点	二次健診対象者		二次健診結果	
					対象者数	対象者率	面接数	要留意 学生数
令和4年度	1303	1276	98%	12.1	100	7.8%	21	7
前年度	1335	1248	93%	12.7	107	8.6%	28	16

### 13. 新型コロナウイルス感染症相談対応

令和4年度も令和2・令和3年度に引き続き、学生・教職員・保護者を対象に新型コロナウイルス感染症に関連した体調不安や心配がある場合に、当部門が窓口となって相談に応じた。令和4年度の相談総件数は71件であり、令和3年度から約200件減少した。これは、コロナ禍になって2年以上が経過したこともあり、各自で新型コロナウイルス感染症に対応できるようになったことなどが要因と考えられる。

〈常三島地区〉

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
学 生	①本人の体調	対面	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
		電話・メール	8	2	0	7	4	2	1	1	4	8	0	0	37
	②本人の精神心理面	対面	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		電話・メール	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	③ワクチン関連	対面	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
		電話・メール	0	12	0	1	1	1	0	1	0	0	0	0	16
	④感染症・濃厚接触者の相談(2月～)	対面	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		電話・メール	0	0	0	2	1	0	1	1	1	0	0	0	0
	合計	対面	0	3	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	4
		電話・メール	8	14	0	10	6	3	2	3	5	8	0	0	59
総計		8	17	0	10	6	3	2	3	5	9	0	0	63	

教 職 員	①本人の体調	対面	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		電話・メール	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	②本人の精神心理面	対面	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		電話・メール	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	③ワクチン関連	対面	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		電話・メール	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	④感染症・濃厚接触者の相談(2月～)	対面	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		電話・メール	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0
	合計	対面	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		電話・メール	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	2
総計		0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	2	

保 護 者	①学生の体調	対面	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		電話・メール	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	②学生の精神心理面	対面	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		電話・メール	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	③ワクチン関連	対面	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		電話・メール	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	④感染症・濃厚接触者の相談(2月～)	対面	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		電話・メール	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
	合計	対面	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		電話・メール	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
総計		0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	2

総合計		8	18	0	11	8	3	2	3	5	9	0	0	67
-----	--	---	----	---	----	---	---	---	---	---	---	---	---	----

〈蔵本地区〉

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
学 生	①本人の体調	対面	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		電話・メール	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
	②本人の精神心理面	対面	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		電話・メール	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	③ワクチン関連	対面	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		電話・メール	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	④感染症・濃厚接触者の相談(2月～)	対面	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		電話・メール	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	合計	対面	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		電話・メール	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
総計		0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	

教 職 員	①本人の体調	対面	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		電話・メール	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	②本人の精神心理面	対面	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		電話・メール	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	③ワクチン関連	対面	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		電話・メール	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
	④感染症・濃厚接触者の相談(2月～)	対面	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		電話・メール	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	合計	対面	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		電話・メール	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
総計		0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	

保 護 者	①学生の体調	対面	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		電話・メール	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	②学生の精神心理面	対面	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		電話・メール	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	③ワクチン関連	対面	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		電話・メール	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	④感染症・濃厚接触者の相談(2月～)	対面	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		電話・メール	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	合計	対面	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		電話・メール	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
総計		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	

総合計		0	0	3	0	0	1	0	0	0	0	0	0	4
-----	--	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

## 1 4. 学生健康診断証明書

学生の健康診断証明書は、保健管理部門の窓口及び学務部に設置している自動発行機で発行している。令和4年度の総発行数は1,837件となり、令和3年度から約100件増加した。

保健管理部門発行分

	総合科学	医学	歯学	薬学	工学	理工学	生物資源産業学	合計(枚)
4月	22	17	2	9	0	87	17	154
5月	15	20	3	10	0	72	17	137
6月	3	25	1	4	0	5	0	38
7月	3	13	3	3	0	1	0	23
8月	3	9	0	0	0	3	0	15
9月	0	3	0	0	2	7	1	13
10月	3	1	0	0	0	3	1	8
11月	0	2	0	0	0	0	0	2
12月	4	5	0	0	0	2	0	11
1月	0	1	2	0	0	3	1	7
2月	0	2	2	12	0	3	0	19
3月	4	22	4	0	0	18	1	49
合計	57	120	17	38	2	204	38	476

自動発行機発行分

	総合科学	医学	歯学	薬学	工学	理工学	生物資源産業学	合計(枚)
4月	17	38	7	8	0	38	16	124
5月	21	23	2	14	0	62	10	132
6月	25	145	3	11	0	44	25	253
7月	12	137	20	1	0	21	5	196
8月	4	39	3	0	0	12	12	70
9月	6	18	1	4	1	26	0	56
10月	6	27	2	1	0	11	7	54
11月	1	8	0	4	0	2	1	16
12月	1	83	0	0	1	6	12	103
1月	0	8	14	8	0	11	5	46
2月	14	16	5	45	0	18	1	99
3月	26	74	6	2	0	86	18	212
合計	133	616	63	98	2	337	112	1,361

全発行分

	総合科学	医学	歯学	薬学	工学	理工学	生物資源産業学	合計(枚)
4月	39	55	9	17	0	125	33	278
5月	36	43	5	24	0	134	27	269
6月	28	170	4	15	0	49	25	291
7月	15	150	23	4	0	22	5	219
8月	7	48	3	0	0	15	12	85
9月	6	21	1	4	3	33	1	69
10月	9	28	2	1	0	14	8	62
11月	1	10	0	4	0	2	1	18
12月	5	88	0	0	1	8	12	114
1月	0	9	16	8	0	14	6	53
2月	14	18	7	57	0	21	1	118
3月	30	96	10	2	0	104	19	261
合計	190	736	80	136	4	541	150	1,837

## 15. 健康教室

学生・教職員の健康増進の取り組みの一環として、昨年度に引き続き、令和4年度も新型コロナウイルス感染症対策を講じて健康教室を開催した。参加者人数は昨年度に比べ約100人増加した。今後も学生・教職員の健康増進維持の観点から積極的に健康教室を開催したいと考えている。

	日付	内容	参加人数	合計
1回	8月29日 13:00～15:00	骨密度	18	133
2回	12月22日 14:30～16:30	貧血	9	
3回	1月26日 14:00～16:00	骨密度	6	
4回	3月15日 14:00～16:00	骨密度	7	
特別企画	11月1日～11月30日	ウォーキングチャレンジ2022	93	

## 16. 年間主要行事

令和4年度は例年の行事に加え、推薦入試、大学院入試、編入学試験などの入試救護及び新型コロナワクチン職域接種（大学拠点接種）3回目などを実施した。

月	学生業務	職員業務
4	新入生定期健康診断	特殊健診：放射線取り扱い者健康診断(病院診療用)
	在校生定期健康診断	
	在校生定期健康診断再検査	
5	特殊健診：放射線取り扱い者健康診断(新規)	
	新型コロナワクチン職域接種	
	在校生定期健康診断	
	在校生定期健康診断再検査	
	HBs抗原抗体検査(麻疹・風疹・水痘・ムンプスを含む)	
	(総3・M1・医2・栄2・看1,3編入・放2・検2・助M1・歯1,3編入・口1・薬1)	
	HBs抗原抗体検査(前年度検査延期した学年)	
	(総4・M2・医3・栄3・看2,4編入・放3・検3・助M2・歯2,4編入・口2)	
新入生精神健康調査有所見者面接		
編入学試験救護		
6	特殊健診：放射線取り扱い者健康診断(新規)	
	定期健康診断事後指導	
	新入生定期健康診断再検査(尿)	
	1回目HBsワクチン接種	
	(総3・M1・医2・栄2・看1,3編入・放2・検2・助M1・歯1,3編入・口1・薬1)	
	新入生精神健康調査有所見者面接	
	編入学試験救護	
	大学院入試救護	
7	2回目HBsワクチン接種	特殊健診：有害業務従事者健康診断(第2回)
	(総3・M1・医2・栄2・看1,3編入・放2・検2・助M1・歯1,3編入・口1・薬1)	特殊健診：VDT作業従事者健康診断
	新入生精神健康調査有所見者面接	
	新入生定期健康診断胸部撮影・血圧・身長体重測定	
	新入生定期健康診断血圧再検査・事後指導	
	定期健康診断有所見者文書指導	
	大学院入試救護	
編入学試験救護		
8	オープンキャンパス救護	特殊健診：放射線取り扱い者健康診断
	編入学試験救護	
	大学院入試救護	
	健康教室1回目(骨密度)	
第52回 中国・四国大学保健管理研究集会(島根大学WEB)		
9	特殊健診：放射線取り扱い者健康診断(更新)	
	編入学試験救護	特定保健指導
	前期業務整理	

月	学生業務	職員業務
10	学祭救護(常三島・蔵本)	
	インフルエンザ予防接種実施(希望者)	
	第60回 全国大学保健管理研究集会(北里大学)	
	一般社団法人国立大学保健管理施設協議会総会	
11	インフルエンザ予防接種実施(希望者)	
	3回目HBsワクチン接種	
	(総3,M1・医2・栄2・看1,3編入・放2・検2・助M1・歯1,3編入・口1・薬1)	
	大学院入試救護	
	推薦入試救護	
	電気電子駅伝大会出場者健康診断	
	駅伝健診の再検査	
健康教室特別企画(ウォーキングチャレンジ)		
特殊健診:放射線取り扱い者健康診断(新規)		
12	秋季入学健康診断	特殊健診:深夜業務従事者健康診断
	秋季入学健康診断再検査	特殊健診:有害業務従事者健康診断(第2回)
	定期健康診断経過観察	
	電気電子駅伝大会出場者健康診断	
	駅伝健診の再検査	
	推薦入試救護	
	大学院入試救護	
健康教室2回目(貧血)		
1	HBs抗体検査	胃がん検診(40才以上)
	(総3,M1・医2・栄2・看1,3編入・放2・検2・助M1・歯1,3編入・口1・薬1)	子宮がん検診(女子職員希望者)
	大学院入試救護	大腸がん検診(希望者)
		喀痰細胞診検査(希望者)
		がん検診判定(大腸がん・喀痰細胞診)
	健康教室3回目(骨密度)	
大学入試共通テスト救護(第1日程・第2日程)		
2	推薦入試救護	
	大学院入試救護	
	私費留学生入試救護	
	前期入学試験救護	
	放射線取り扱い者健康診断(更新)	
公益社団法人全国大学保健管理協会中国四国保健看護運営委員会		
3	令和5年度学生定期健康診断	定期健康診断有所見者経過観察
	令和5年度学生定期健康診断再検査	
	大学院入試救護	
	後期入学試験救護	
	健康教室4回目(骨密度)	
	公益社団法人全国大学保健管理協会中国四国地方部会幹事会(書面審議)	
	全国大学保健管理協会中国四国地方部会意見交換会	
本年度業務整理		

## Ⅱ. 総合相談部門

### 1. 利用状況

#### (1) 学生相談利用状況

全体の来談者数は228人となり、前年度の233人とほぼ変わらない人数となった。前年度同様、「人間関係」と「精神面」の問題の解決を求めて来談する学生の人数が多いのに加えて、「修学・履修」の悩みで来談する学生が増加した。コロナ禍での特殊な修学環境における適応問題が増えたことが背景にあると考えられる。

学部においては、「理工学部」の来談者が顕著に多かった。理工学部は、在籍学生数が圧倒的に多いことに加え、単に理系科目が得意であるという理由で進学してくる学生が多く、そのような学生は専門科目の修学意欲を維持することが困難になりやすい。これらの背景により利用人数が多くなったと考えられる。

大学院においては、「創成科学研究科」の来談者が最も多かった。令和2年4月に設置された「創成科学研究科」は、常三島地区全体の大学院であることから、最も多い状況が継続すると予想される。

学部	修学・履修	留年・不登校	進路・就職	経済的	人間関係	精神面	健康面	人権	悪質商法	その他	合計
総合科学部	7	3	10		6	12		1			39
医学部	7	1	2	2	9	16					37
歯学部	1									1	2
薬学部	4	1	1		7	4	1				18
工学部											0
理工学部	13	14	10		9	16		3		1	66
生物資源産業学部	3	2			3	7					15
不明学部											0
学部合計	35	21	23	2	34	55	1	4	0	2	177
総合科学教育部											0
医学研究科	1					1					2
医科栄養学研究科	2					2		1			5
保健科学研究科								2			2
口腔科学研究科					2	1		1		1	5
薬学研究科	1										1
先端技術科学教育部			2		1						3
創成科学研究科	7	8	2	1	5	8		2			33
大学院合計	11	8	4	1	8	12	0	6	0	1	51
合計	46	29	27	3	42	67	1	10	0	3	228

## (2) 相談内容別職員相談利用状況

全体の来談者数は44人であり、昨年度の31人の1.4倍となった。所属別で見ると、「病院」が最も多かった。相談内容別で見ると、「人間関係の問題」と「人権」問題の解決を求めて来談する教職員が最も多かった。この傾向は前年度と変わらないが、コロナ感染拡大状況の落ち着きとともに、教職員同士の接触の機会が増えたことが利用人数増加の背景にあると考えられる。前年度同様、職場の対人的環境で悩む教職員の利用ニーズが高かったと考えられる

学部	人間関係	就労環境	雇用条件	職業将来設計	人権	精神面	自分の性格等	家族	その他	合計
総合科学部		1							1	2
医学部	4				1					5
歯学部	2	1			1					4
薬学部	1									1
理工学部	1			1	1	1			2	6
生物資源産業学部						1				1
共同教育研究施設					2					2
病院	6	1		1	3	1	1	1		14
事務局		2			1	1				4
その他(学外等)	2	1			1				1	5
不明										0
合計	16	6	0	2	10	4	1	1	4	44

## 2. 活動報告

令和4年度

月	対象者	行事	内容
4	学生・教職員・保護者	「キャンパスライフ健康支援センター利用案内」発行	キャンパスライフ健康支援センターの利用案内及び活動内容を周知
		(理工学部) 新入生オリエンテーション	理工学部を3ブロックにわけて新入生を対象のオリエンテーション(学生時代の悩み・総合相談部門の紹介)を実施(井ノ崎専任教員)
		(総合科学部) 新入生オリエンテーション	新入生を対象のオリエンテーション(学生時代の悩み・総合相談部門の紹介)を実施(後藤専任教員)
		(生物資源産業学部) 新入生オリエンテーション	新入生を対象のオリエンテーション(学生時代の悩み・総合相談部門の紹介)を実施(井ノ崎専任教員)
		(医学部) 新入生オリエンテーション	新入生を対象のオリエンテーション(学生時代の悩み・総合相談部門の紹介)を実施(中村専任教員)
		(歯学部・薬学部) 新入生オリエンテーション	新入生対象の入門講座(学生時代の悩みと総合相談部門の紹介)を実施(後藤専任教員)
	新入生・学生	マルチ商法及びカルト問題の注意喚起のリーフレットを作成・配布	新入生に配布する悪質商法及びカルト問題の注意喚起のリーフレットを作成し、配布
	学生	「ほっと」の会	学生対象のグループ活動を実施(井ノ崎専任教員)
		ほっとカフェ	学生同士の交流を深める茶話会を実施[常三島地区1回](後藤専任教員)
		ゆる〜くやるミニコミュニケーション講座	学生対象のグループ活動を実施(中村専任教員)
5	学生	「ほっと」の会	学生対象のグループ活動を実施(井ノ崎専任教員)
		ほっとカフェ	学生同士の交流を深める茶話会を実施[常三島地区2回](後藤専任教員)
		ゆる〜くやるミニコミュニケーション講座	学生対象のグループ活動を実施(中村専任教員)
6	教職員	メンタルヘルスマーケティング	保健管理部門と総合相談部門、アクセシビリティ支援部門との情報交換及び事例についてカウンセラー等が意見交換
	学生	「ほっと」の会	学生対象のグループ活動を実施(井ノ崎専任教員)
		ほっとカフェ	学生同士の交流を深める茶話会を実施[常三島地区2回](後藤専任教員)
7	学生	「ほっと」の会	学生対象のグループ活動を実施(井ノ崎専任教員)
		ほっとカフェ	学生同士の交流を深める茶話会を実施[常三島地区2回](後藤専任教員)
		ゆる〜くやるミニコミュニケーション講座	学生対象のグループ活動を実施(中村専任教員)
教職員	徳島大学病院職員対象ハラスメント研修「働きやすい職場環境づくりとしてのハラスメント予防と対応」	病院現場でのハラスメント予防と対応に関する講義を実施(井ノ崎専任教員)	
8	学生	ゆる〜くやるミニコミュニケーション講座	学生対象のグループ活動を実施(中村専任教員)
9	学生	ゆる〜くやるミニコミュニケーション講座	学生対象のグループ活動を実施(中村専任教員)
10	学生	「ほっと」の会	学生対象のグループ活動を実施(井ノ崎専任教員)
		ほっとカフェ	学生同士の交流を深める茶話会を実施[常三島地区2回](後藤専任教員)
		ゆる〜くやるミニコミュニケーション講座	学生対象のグループ活動を実施(中村専任教員)
11	学生	「ほっと」の会	学生対象のグループ活動を実施(井ノ崎専任教員)
		ほっとカフェ	学生同士の交流を深める茶話会を実施[常三島地区2回](後藤専任教員)
		ゆる〜くやるミニコミュニケーション講座	学生対象のグループ活動を実施(中村専任教員)
12	教職員	メンタルヘルスマーケティング	保健管理部門と総合相談部門、アクセシビリティ支援部門との情報交換及び事例についてカウンセラー等が意見交換
	学生	「ほっと」の会	学生対象のグループ活動を実施(井ノ崎専任教員)
		ほっとカフェ	学生同士の交流を深める茶話会を実施[常三島地区2回](後藤専任教員)
		ゆる〜くやるミニコミュニケーション講座	学生対象のグループ活動を実施(中村専任教員)
専任教員	日本パーソナリティ心理学会第32回大会(沖縄)	後藤専任教員参加	
1	学生	「ほっと」の会	学生対象のグループ活動を実施(井ノ崎専任教員)
		ほっとカフェ	学生同士の交流を深める茶話会を実施[常三島地区1回](後藤専任教員)
		ゆる〜くやるミニコミュニケーション講座	学生対象のグループ活動を実施(中村専任教員)
2	学生	ゆる〜くやるミニコミュニケーション講座	学生対象のグループ活動を実施(中村専任教員)
3	教職員	メンタルヘルスマーケティング	保健管理部門と総合相談部門、アクセシビリティ支援部門との情報交換及び事例についてカウンセラー等が意見交換
	学生	ゆる〜くやるミニコミュニケーション講座	学生対象のグループ活動を実施(中村専任教員)
	教職員	令和4年度医学部保健学科FD研修会「大学におけるハラスメントの予防と対策」(オンライン開催)	ハラスメントについて理解を深めることをテーマとした講演を実施(井ノ崎専任教員)

※総合相談部門開室日  
月～金 8:30～17:15

※総合相談部門閉室日  
夏季一斉休業(R4.8.12～R4.8.16の間)  
冬季一斉休業(R4.12.29～R5.1.3の間)

### Ⅲ. アクセシビリティ支援部門

#### 1. 利用状況

##### (1) 学生相談利用状況

学部別で見ると、相談人数・面談回数ともに学部別学生数に占める相談人数・面談回数の割合は総合科学部が最も高く、次に理工学部が高かった。

また、障害種別で見ると「発達障害」が最も多く相談件数の約48%を占めており、相談件数の増加率は「精神障害」が最も大きく、令和3年度と比較して約1.28倍増となった。

アクセシビリティ支援部門での相談人数は昨年度より10人増加、相談件数は10件減少しているが、過去5年で比較すると相談人数、相談件数ともに増加傾向にある。

面談の形式は令和3年度まではオンラインの比率が高かったが令和4年度は対面の方が多くなっている。

担当教員による定期的な面談を実施し、それぞれの学生の障害に起因する困難について、合理的配慮がなされるよう関係学部・関係部署・医療機関等と調整を行った。

##### ■学部・大学院別

学 部	人 数	面談件数
総合科学部	8	42
理工学部	23	160
生物資源産業学部	3	10
創成科学研究科 生物資源学専攻	1	6
医学部	3	25
医科栄養学研究科 医科栄養学専攻	1	2
歯学部	0	0
薬学部	1	1
その他(教員含む)	0	0
計	40	246

##### ■障害種別

障害の内容	人 数	面接件数
視覚障害	0	0
聴覚・言語障害	0	0
肢体不自由	3	17
病弱・虚弱 (内部障害等)	2	10
重 複	1	9
発達障害	19	146
精神障害	15	64
その他の障害	0	0
計	40	246

## (2) 支援学生の育成

これまで、障がいをもつ学生を支援する支援学生(ピアサポーター)を育成するため、定期的にアクセシビリティ研究会を開催し、支援のための知識や方法の修得を促していたが、令和4年度は昨年度同様に新型コロナウイルス感染拡大防止のため開催を見送った。

また、平成28年度より本学はアクセシビリティリーダー育成協議会に入会し、アクセシビリティリーダー1級及び2級の取得が可能となった。

令和4年度には、累計で本学の1級取得者が9名(うち1名は試験に合格したが、認定要件を満たさなかったため未認定)2級取得者は64名となっている。

## 2. 活動報告

令和4年度

月	対象者	行 事	備 考
4	学生	新入生(理工学部)オリエンテーション	
		新入生(総合科学部)オリエンテーション	
		新入生(生物資源産業学部)オリエンテーション	
7	学生	アクセシビリティリーダーオンライン講座受講 申込受付	アカウント配布 29名
8	学生	アクセシビリティリーダーオンライン講座・開講	
	学生	ALサマーキャンプ申込受付	学生参加者なし
	学生	アクセシビリティリーダー1級・2級受験申込	1級0名 2級25名申込
9	学生	ALサマーキャンプ(オンライン)	学生参加者なし
12	学生	アクセシビリティリーダー1級・2級試験受験	2級25名
1	学生	アクセシビリティリーダー1級・2級合格者発表	2級18名合格
	学生	ALキャンプ申込受付	2名
3	学生	AL春キャンプ(オンライン)	2名

#### IV. キャンパスライフ健康支援センター活動報告

月	業務
5	第1回キャンパスライフ健康支援センター会議
6	第2回キャンパスライフ健康支援センター会議
	第1回メンタルヘルスマーケティング
10	第3回キャンパスライフ健康支援センター会議
11	第4回キャンパスライフ健康支援センター会議
12	第5回キャンパスライフ健康支援センター会議
	第2回メンタルヘルスマーケティング
1	第6回キャンパスライフ健康支援センター会議
	第1回キャンパスライフ健康支援センター運営委員会
2	第7回キャンパスライフ健康支援センター会議
	第2回キャンパスライフ健康支援センター運営委員会
3	第8回キャンパスライフ健康支援センター会議
	第3回メンタルヘルスマーケティング

## 巻末言

キャンパスライフ健康支援センター年報（令和 4 年度）をご覧くださいありがとうございます。巻末にて、ご挨拶させていただきます。

令和 4 年度も昨年に引き続き、新型コロナウイルス感染症の影響のなかで学生・教職員はキャンパスライフを送ることになりました。しかし、学生・教職員はこれまでの新型コロナウイルス感染症に対する蓄積された知識やノウハウを活かして様々な予防策を講じてコロナ禍の制限下でも、より良いキャンパスライフを送れるように前向きに努力してきた 1 年間でした。その一つとして 5 月には大学病院およびキャンパスライフ健康支援センター保健管理部門が中心となって令和 3 年度に引き続き、3 回目の大学拠点の新型コロナワクチン職域接種を本学および近隣大学の学生・教職員・関係者に実施しました。たくさんの関係者のご協力により学生及び職員に対して安全にワクチン接種が実施できましたことを、この場を借りてお礼申し上げます。また、令和 4 年度は学内でも徐々にではありますが感染予防策を講じながら対面での講義や実習が再開されるようになり、キャンパス内の活気も少しずつ以前に戻ってきました。そしてこの年報が発巻される前の令和 5 年 5 月 8 日には新型コロナウイルス感染症は季節性インフルエンザと同じ 5 類感染症へ移行され、マスクの着用も病院等の医療施設を除いて、個人の判断に委ねられることになり社会活動もコロナ禍前に戻りつつあります。

学生においては、コロナ禍になって 3 年以上経過したこともあって新型コロナウイルス感染症にも迅速に対応できるようになり、コロナに関連したメンタルを含めた相談件数は少しずつ減少しているようです。一方、対面での講義や実習が再開されるようになってからは、長らくオンライン授業などに慣れたこともあってか、対面で学内生活を送ることや友人等とのコミュニケーションなどに不安を感じる学生も少なからず存在し、これらに関連した悩みや不安の相談件数が少しずつ増えている状況です。

今後もキャンパスライフ健康支援センターでは学生及び職員の心身の健康管理・診療・相談・支援のためにセンター職員が連携し、皆様がお気軽にお立ち寄りしていただけるようなセンターを目指してまいりますので、引き続きセンターへのご支援・ご協力・ご理解の程を宜しくお願い致します。

令和 5 年 8 月  
保健管理部門 教授 曾我部正弘

令和4年度 キャンパスライフ健康支援センター年報

発行日 2023年9月

編集・発行 徳島大学キャンパスライフ健康支援センター

〒770-8502 徳島市南常三島町1丁目1番地